

令和7年度 小諸市立野岸小学校グランドデザイン

学校教育目標

すなお やりぬく かんがえる じょうぶ

目指す子どもの姿

【すなおな子ども】

○友だちや地域の方と関わる中で、自分らしく豊かに生きる野岸の子ども（笑顔・あいさつ・自己理解・人間関係力）

【やりぬく子ども】

○最後まであきらめず、粘り強く取り組み野岸の子ども（やる気・実践力）

【かんがえる子ども】

○自ら学び、共に学ぶ野岸の子ども（思考力・判断力・表現力、対話と協働）

【じょうぶな子ども】

○たくましく元気に活動する野岸の子ども（やさしさ・強さ・たくましさ・体力）

【校長の願い】

- ・安心・安全な環境の中で、持てる力を存分に発揮してほしい。
- ・自己肯定感を持ち、自分を大切にするとともに、相手を尊重できる人間になってほしい。
- ・自分で考え、判断、行動、表現できる自立した人間になってほしい。

【小諸市の教育】

- 「梅花教育」の理念・実践
- 第3期小諸市教育大綱より
 - ・心豊かで、自立（自律）する子どもの育成
 - ・対話と協働による学びの充実
 - ・自治的・創造的な活動の充実
 - ・すべての子どもを包み込む居心地のよい学校づくり

【本校が大切にしている教育】

- ・のびのびと自分らしさを発揮し、他者との違いを尊重し合える児童
- ・自ら学び活動する主体的な児童
- ・考えや思いを自分の言葉で表現、発信する児童
- ・友と関わり合いながら対話的、協働的に学び活動する児童
- ・間違いや失敗、つまずきから成長できる児童
- ・小諸市の良さを感じ地域に貢献できる児童

【学校を取りまく環境】

- ・心豊かな地域の皆様
- ・北国街道、懐古園をはじめ、長い歴史に支えられた地域
- ・現在は、コンパクトシティ小諸
- ・浅間山の麓、自然豊かな環境

本年度の重点目標

**すべての子どもを大切にする
「明日もきたい」(来たい・期待)★わくわくする野岸小学校**

- ①「対話と協働」を軸にした子ども主体の授業づくり・学校生活づくり
- ②一人も取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境づくり

全校研究テーマ

学びをつなげ、考えを深める子どもの育成
～互いの考えを認め合い、確かな学力をつける授業をめざして～

○教師主導の学校生活から、子どもが自ら学び活動する学校生活づくりへの転換

★学校つまらない・授業わからないゼロチャレンジ

【対話と協働】：グループ学習（ペア学習）、探究授業、児童会活動、クロームブックの活用

○学習や学校生活（人間関係等）のつまずきへの支援の充実

★つまずき未解決ゼロチャレンジ

【早期支援・チーム支援】：児童の教育相談・保護者を交えた支援会議の早期開催

○すべての不登校児童の改善と新たな不登校を出さない日々の取り組みの充実

★不登校の「芽」放置ゼロチャレンジ

【早期支援・チーム支援】：児童の教育相談と保護者を交えた支援会議の早期開催

○支え合い、高め合える職員集団

★非違行為ゼロチャレンジ・療休（メンタル）ゼロチャレンジ

【チームのぎし】：職員一人ひとりの力を結集し、組織の力・チームの力で学校力を高める